

2016 年度「人材発掘」入試
法学既修者認定試験

憲 法
(問 題)

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（60点）

ある障害者支援施設で、職員が施設内で障害者に暴行を加えているとの噂が立った。テレビ局Xの報道担当記者Aは、同施設で働いている障害者Bに、職員による暴力行為があった際にそれを密かに撮影するよう依頼して、携帯カメラを貸与した。その後、BがAに返却したカメラには、職員Cが障害者Dを強く叱責しながら頭を小突いている動画画像が収録されていた。Xはテレビニュースで当該動画画像の一部を放映し、施設内で暴力行為が行われていると報道した。

警察は施設内での暴力行為について捜査を開始し、施設の複数の職員から事情を聴取するとともに、Xの報道部に当該動画画像の任意の提出を求めたが、Xは報道のために入手したものであることを理由に提出を断った。そこで警察は、裁判官の発した令状により、当該動画画像の記録された前記カメラの記録媒体を差し押えた。これに対してXは、当該記録媒体の差押えは報道の自由および取材の自由を不当に侵害するものであるとして、その取消しを求めて準抗告を申し立てた。

Xの主張は認められるか。

〔以下余白〕

